

江戸城の歴史をわかりやすく見て学べる！

「太田道灌と江戸城」解説パネルを2017年3月28日から常設設置

株式会社東京国際フォーラム（本社：東京都千代田区丸の内、代表取締役社長：上條清文）は、NPO法人江戸城天守を再建する会※1との連携企画として、1457年江戸城を築城した太田道灌公※2の銅像設置箇所に、同公のプロフィール、関東戦国史と太田道灌の足跡の解説パネル、城模型作家・長谷川進氏制作の江戸城模型、城の解説パネルを設置いたします。

この取組みは、2017年1月東京国際フォーラム開館20周年記念事業として開催した、日本の伝統文化を楽しみ、体感するイベント「J-CULTURE FEST／にっぽん・和心・初詣」の展示企画が好評だったことから、より多くの方に東京国際フォーラムが立地するこの地と太田道灌、江戸城のゆかりを知っていただくために企画いたしました。

■概要

設置時期／2017年3月28日(火)から常設

設置時間／7:00～23:30

(3月28日は10:30～23:30)

場 所／東京国際フォーラム ガラス棟1階東京駅側
太田道灌銅像設置箇所



「太田道灌と江戸城」の解説パネル 設置イメージ

※1 NPO法人江戸城天守を再建する会とは

1657年の明暦の大火により失われた江戸城天守の再建を通して、21世紀における新しい日本及び東京のシンボルの設立を目指すNPO法人。「J-CULTURE FEST／にっぽん・和心・初詣」では、歴史情報や展示物をご提供。

※2 太田道灌公銅像とは

銅像は、開都500年を記念して造られたもので朝倉文夫作（1956年10月）。旧東京都庁第一庁舎前に設置され、都庁が1991年に新宿区へ移転したことに伴い、その後、跡地に1997年に建てられた東京国際フォーラムの中に移設。